

国際共同研究ルーブリック（グループワークにおける評価）_2022ver.

	傾聴力	発信力	質問力	合意形成力	貢献力	
					ファシリテーターとして	メンバーとして
S 優秀	- 他者の発言に相づちを打つなど、他者を尊重した適切な姿勢で聴くことができる。 - 意見の主張や根拠を深く考えながら聴き、理解に努めようとする。	- 自分の意見や考えについて、複数の視点から明確に根拠を示し、わかりやすく整理して発信することができる。 - 質問に対し感情的にならず、表現を変えたり補足したりしながら具体的に回答することができる。	合意につなげるために、積極的に疑問点について具体的に質問し、理解できるまで質問し続けることができる。	- 他者と自分の意見の違いを明確に理解した上で、他者を尊重した対応ができる。 - 合意形成のため、自分の意見や考えに偏りがいないか、根拠が正しいか客観的に検証し、柔軟に考えを再検討、再構築することができる。	必要に応じて、自らファシリテーターの役割を担い、適切に質問を投げかけ、合意形成のためにメンバー全員から意見を引き出すことができる。	積極的にリーダーを支援し、質問に積極的に答え建設的な意見を述べるることができる。
A 良好	他者の発言を、深く考えながら、話を遮らずに、しっかり聴くことができる。	- 自分の意見や考えを根拠を示し、自信をもって発信することができる。 - 質問に対し感情的にならず、具体的に回答することができる。	合意につながる情報を得るため積極的に具体的な質問することができる。	他者と自分の意見を客観的に検討し、互いが納得できる合意形成のために、自分の意見や考え、根拠を再検討し歩み寄ろうとすることができる。	必要に応じて、自らファシリテーターの役割を担うことができる。	ファシリテーターに協力し、グループワークに積極的に参加することができる。
B 改善を要する	- 他者の発言を聴いてはいるが、あまり深く考えることができていない。 - 話しの途中で言葉をはさむなど、他者を尊重する姿勢が欠けている。	- 他者に促されれば、自分の考えを伝えることができるが、根拠が曖昧である。 - 他者の反応を気にして、自分の意見を発信できない。 - 質問に対し具体的な回答ができず、同じ表現を繰り返し話してしまう。	- 疑問点があっても、他者の反応を気にして質問することができない。 - 質問の内容が具体的にない。	他者と自分の意見を客観的に検討することができず、自分と違う意見や考えを受け入れることができない。	周囲に頼まれれば、役割を担うことができる。	自分の役割は行えるが、全体を見て自分から対応することができない。
C 大幅な改善を要する	他者の話をほとんど聴かない（知識不足のため理解できない）。	ほとんど発言をしない（することができない）。	他者の意見を聞くだけになっている。	- 他者の意見に頼ろうとしており、周囲に流されてしまっている。 - 独断で決めようとする。	周囲に頼まれても、役割を担おうとはしない。	グループワークに協力したり貢献することができない。